

JAXA 様から受変電設備更新工事を受注

株式会社 SYSKEN は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）様から、情報通信技術で電力設備の信頼性向上・レジリエンス強化を目指す技術提案型入札工事を受注しましたのでお知らせします。

1. 受注内容について

施工場所：鹿児島県 肝属郡 内之浦宇宙空間観測所 長坪地区

工事内容：受変電設備の更新及び一部変台間ループ化工事※1

また、上記の対する技術提案※2

完成時期：2025年3月

※1 タイトランス 200kVA2台（1台移設）、受電盤 18面、ループ盤 4面 他

※2 専用情報通信網の構築、監視システム、AIカメラ

2. 受注の背景

当該地域は台風や塩害・高温などの自然災害からの被災確率が高く、防災・減災に加え、特に多い停電に対して“安定供給”“信頼性向上”が求められ、老朽化した受変電設備の更新のみならず運用まで意識した提案を行った。

3. 提案のねらい情報通信網を利用した受変電設備のスマート保全化支援

更なる信頼性向上には、老朽機器更新のみならず運用も含めたソフト対策が重要であるため、我々は施設管理プラットフォームとして専用の情報通信網の構築を提案。

これにより、リアルタイムかつ遠隔による運転管理、監視、実績管理が可能となり現場による施設管理との“シナジー効果の最大化”、そして“電力と通信の融合による面的レジリエンス向上”を支援しスマート保全に資する体制づくりを JAXA 様と協働で実施していく。

4. 提案方針・内容

提案方針：専用の情報通信網の整備による保全高度化

当該地域の各変台は起伏が激しく、かつ受変電室や各変台間の距離も離れており、無線通信に課題があるため専用情報通信網を構築、速やかに情報を集約し遠隔監視を実現する方針。

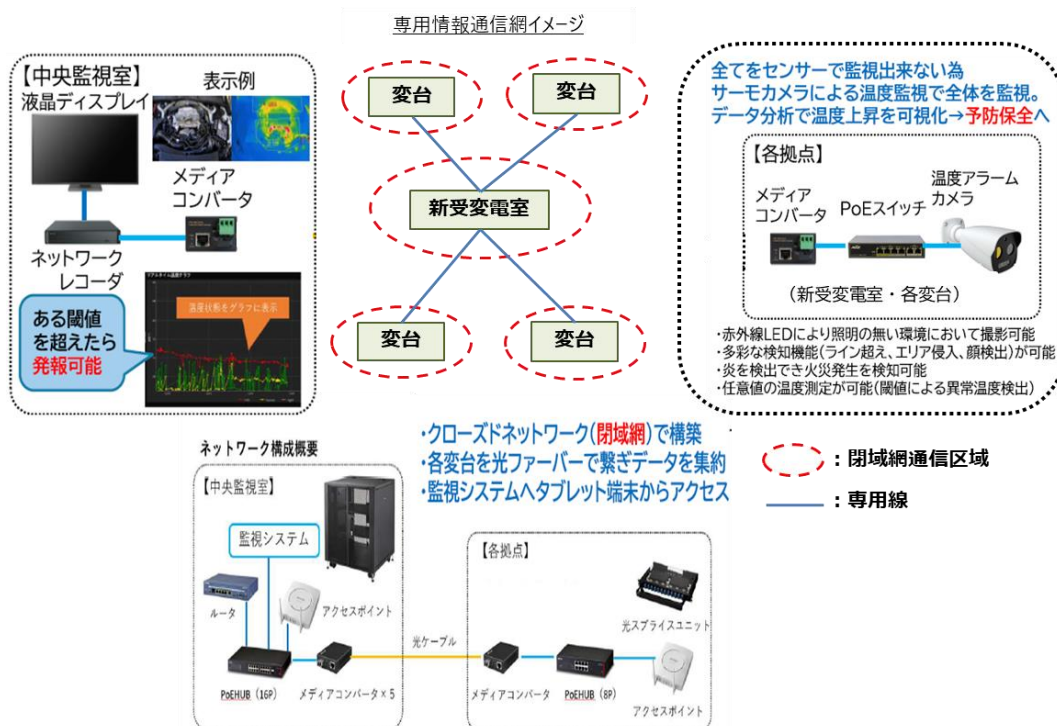
提案概略内容

- ・新電気室及び各変台を繋ぐ情報通信網に電磁ノイズ干渉が無い光ファイバーを敷設。
- ・新電気室及び各変台周辺（半径15m程度）に限定した無線設備を整備。
- ・閉域区域内でタブレットを用いた点検データ入力・実績確認、取説閲覧実施等

- ・異音・異臭等による不具合確認に先立ち機器等が発熱する異常の前兆を、サーモカメラによる温度監視にて検知。

5. 情報通信網導入の効果

- ・受電室、各変台の 巡視点検を省力化・省人化。
- ・情報一元管理で、突発等想定外の停電発生時に早期に原因特定及び初期対応が可能となる。
- ・費用対効果の観点から全てをセンサーで監視せずサーモカメラで補完。
全体の異常発熱を24時間監視・データ化し、早期発見・予防保全へ繋げる。
- ・トレンド監視を行い、閾値以上の場合はA I が自動検知・分析を行い異常発生と判断した場合は警報を発報し事故を未然に防ぐことが可能な体制を構築できる見込み。



当社は長年培った通信・電気・土木・ICTの総合設備事業者として多様なニーズに「確かな技術」そして「スピード」でお応えしていきます。

本案件に関する問い合わせ先
株式会社 SYSKEN 営業本部 ビジネスソリューション部

TEL [096-285-5555](tel:096-285-5555)